

京都工芸繊維大学 近代京都の蚕業と染織展



2026年1月13日(火) - 3月7日(土)

Tuesday, 13th January, 2026 - Saturday 7th March

開館時間：10:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日：日曜・祝日、1月17日(土)、2月25日(水)、2月26日(木)

入館料：一般 200 円、大学生 150 円、高校生以下無料

*大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料 (入館の際は、手帳の提示をお願いします)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

京都工芸繊維大学繊維アーカイブ作成
プロジェクト企画 第3回シンポジウム

「京都工芸繊維大学—
近代京都の蚕業と染織—」

2026年2月21日(土) 13:00 ~ 17:00

京都工芸繊維大学60周年記念館

申込不要・参加無料

京都工芸繊維大学 近代京都の蚕業と染織展

明治32年(1899)に、京都蚕業講習所が、明治政府の重要な産業政策のひとつであった蚕業研究における西日本の拠点となるべく設置されました。京都工芸繊維大学の「繊維」のルーツです。また、明治35年には、京都の伝統工芸の近代化を理論的・学術的にバックアップする目的で京都高等工芸学校が開校します。これは「工芸」のルーツです。この両者は合体して、昭和24年(1949)に京都工芸繊維大学となります。

今回の展覧会は、京都蚕業講習所と京都高等工芸学校というふたつのルーツをもつ本学が、京都の近代化にどのような役割を果たしたかという点について、繊維(糸と布)を題材として考えようとするものです。経糸と緯糸により布ができあがるように、このふたつの前身校は、それぞれが京都工芸繊維大学の重要な基幹を形成しています。その歴史を「モノ」を通して検証してゆきたいと思います。

序章(附属図書館)では、大学史資料により本学の歴史を辿り、同時に、明治時代に輸入された、蚕についての海外の新知識を伝える貴重な図書類も展示します。美術工芸資料館では、第1章として、明治時代に海外から取り寄せた蚕糸資料の掛図や講義で使用されたと考えられる図表や地図といった教材により、初期の蚕業教育の様相を再現的に示します。第2章では、初期の蚕業教育で使用された器具、道具類を公開します。そして、第3章では、京都高等工芸学校で収集された染織見本や講義で用いられたガラススライド、さらには、京都高等工芸学校色染料の教員による制作物を展示します。これらの資料類により、京都蚕業講習所・京都高等工芸学校が、京都の、そして日本の近代化に果たした役割を明らかにしたいと考えています。

関連企画

京都工芸繊維大学繊維アーカイブ作成プロジェクト企画
第3回シンポジウム「京都工芸繊維大学—近代京都の蚕業と染織—」
2026年2月21日(土)13:00~17:00
会場：京都工芸繊維大学60周年記念館 申込不要・参加無料
登壇者：齊藤有里加(東京農工大学科学博物館 学芸員・特任助教)
長岡純治(京都工芸繊維大学応用生物学系 准教授)
北野裕子(龍谷大学・京都女子大学 非常勤講師)
生田ゆき(文化庁文化財第一課 文化財調査官)
並木誠士(京都工芸繊維大学美術工芸資料館 特定教授)

同時開催

展覧会「モダンライフ・イン・キョウト」
2026年1月13日(火)~3月7日(土)

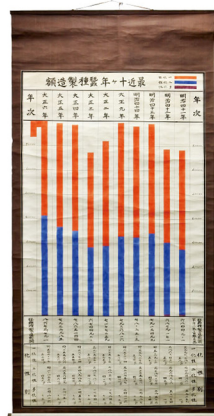
お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

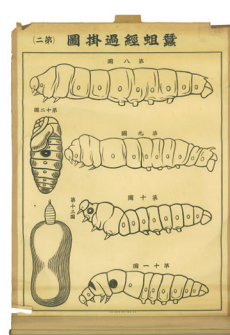
交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
- ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
- ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.
By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.
By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes.
Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.



《最近十カ年蚕種製造額》
1917頃



《蚕蛆経過掛図(第二)》



佐々木忠次郎原図、
渡邊義武掛図
《本邦蚕業の遺利》
大正期



田中芳男《養蚕図解》
1894



《デフカン! 桑の植栽を増やし、蚕の飼育に
適切に活用してください。》1929

※上記の資料は、すべて京都工芸繊維大学附属図書館蔵



《繭一粒秤(5g)》
京都工芸繊維大学
蚕糸資料ギャラリー蔵



《黒縮緬着物秋草縫模様》1904以前
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵
AN.0877

表面：京都工芸繊維大学嵯峨キャンパスの桑園

